



「平和講演会」

校長 望月雄紀

沖縄では、6月23日の慰霊の日があることで、毎年平和について改めて考える機会を与えてもらえます。本校では6月27日に、SYD（公益財団法人の社会教育団体）の山口千恵子さんと谷野涉さんを招いて、平和講演会を開催しました。今回は戦争から考える平和ではなく、別の側面から平和を考える機会となりました。以下の話しが印象に残りました。

○フィリピンでのボランティア活動にいった際、スモークーマウンテンと呼ばれるゴミ捨て場で働くストリートチルドレンに質問しました。「何のために働いている？」次のように答えました。「お父さん、お母さんを少しでも楽にしたいから。」また、「あなたたちの夢はなんですか？」の問いには、1番目：食事が心配なく食べられること。2番目：学校に行って勉強したい。（卒業して職に就きたい）3番目：菓がほしい。との答えが上位3番までを占めました。彼らには、遊園地や動物園を楽しむことなど、考えにもないようです。

○ボランティアから食事の時間に配布された弁当を一口食べて、しまう子どもがいました。「なぜ全部食べないの？」の問いに、「家族に持って帰って、分けて食べるから。」と答えました。

○学校でトラブルの多い小学校6年生の児童がこのボランティアプログラムに参加して、書いた作文に、「みんなの気持ちを1つにしたい」との言葉が書かれていました。この児童は数日間で、かなりの成長をしたようです。

○場面緘黙の高校生がボランティアに参加して、お別れ会で最後に振り絞って言った言葉です。「私は貧しい地域に来ました。とても貧しかったです。お母さんたちが洗濯をされていて、私を見て微笑んでいました。洗濯物が風になびいていました。そこには日常がありました。そこに平和を感じました。」心で感じたことを、率直に言うことができました。

○フィリピン全体が貧しいわけではありません。格差がかなりあります。政府が悪いのではないかとの意見も多くありますが、マザーテレサは次のように言ったようです。「これは、国の問題ではありません。豊かな国の人たちが分かち合わないからです。物質的な貧しい人もいれば、精神的に貧しい人もいます。」

○ボランティアに行った人たちからは、「現地の子どもたちから教わったことが多かった。今をしっかりと生きようと改めて思いました。」との感想がありました。

講演会後には、2年生から素晴らしいお礼の言葉がありました。以下になります。

「この度は、寄宮中学校のために平和講演会をひらいてくださりありがとうございました。今回のお話を聞いて「平和」は戦争のない世界だけと思ってる自分がいたことに気づきました。学びたくても学べなかったり、働かざるおえない子たちが世界にはたくさんいます。彼らは毎日生きていることに感謝して、一つ一つの生命を大切に思いやりの心も決して忘れていません。

一方、わたしたちは、学校で日々勉強し、好きなことに没頭できる環境にあります。この「当たり前」こそが、彼らにとって特別とすることを実感しました。そして私たちはもっともっと感謝しなければなりません。本来の平和は、全ての人々が公正で安心して暮らせることだと思います。それでも世界ではまだまだ子どもの教育が行き届いていなかったり、安心して生活できない人たちがいます。そんな国を支援する団体を、今回を含め私は何度も目にしてきました。これほど身近に活動する団体があるのなら、日々の当たり前の幸せを知っている私たちが、もっとこの課題に正面から向き合い、理解していくべきだと改めて思いました。

貴重な講演をしていただき、ありがとうございました。」【2年生】

今回の講演会を終えて、改めて「平和とは?」「幸せとは?」を考えさせられました。また、「平和の大樹」が本校1階事務室前の自学自習スペースに設置され、生徒や職員が思い思いに自分が思う平和や幸せについて葉っぱに書き留めています。どんどん茂ってきています。この講演会の企画運営や大樹の設置は、平和教育担当の上原美絵教諭のアイデアです。



70周年記念講演会

7月2日に、本校の30期生で歴史研究者として活躍している賀数仁然(かかずひとさ)さんを講師として70周年記念講演会を開催しました。



まず、沖縄のいいところはナニ?の問いから始まり、琉球王国はすごかったこと。首里城はアジア目線で見れば、アジアのスタンダードなお城であること(日本のお城が特別)。万国津梁についての話し。平和について「戦争(いくさ)はならんどー。」の叔父の言葉。オキコノのそうめん工場跡に寄宮中学校ができたこと。寄増原地区、宮城原地区の頭文字を取って寄宮となったこと。などなど、次から次へと面白おかしく語っていただきました。そのなかで、「たくさん失敗しなさい。年齢を重ねると、全て伏線回収になるから」と言う言葉が特に印象に残りました。後輩へ向けての愛情を感じました。講演後にはサインをねだる生徒もいました。仁然さんには、70周年記念誌にも寄稿していただくことになっています。ちなみに、仁然さんは、嘉数千賀子教頭と本校の同級生だったようです。

3年生から、素晴らしいお礼の言葉がありました。以下になります。

「本日はお忙しい中、私達のためにお話くださりありがとうございました。寄宮中学校の先輩でもある仁然さんが70周年を記念した講演会をしてくださると聞き、とても楽しみにしていました。仁然さんのお話を聞く前は、自分たちの地域についてあまり知らずに生活していましたが、今回お話を聞いて、沖縄は武力に頼らなくても万国津梁の心のもと、多くの国々と貿易や外交で繁栄していた。中でも真和志は広大な土地や多くの歴史があることなどを学ぶことができました。沖縄には光を浴びた時代があれば、戦争によって残った深い爪跡もあることを再認識しました。二度と戦争を繰り返さないためにも、これからも歴史を学び続けようと思います。最後に、このような素晴らしいお話を聞かせていただきありがとうございました。」【3年生】

働く意義とは?

6月7日の1年生の寄未知



タイムの時間に沖縄キャリアセンターの方々を招いて、「働く意義」についての講演会を開催しました。1・2・5組を前半、3・4組を後半に分けて、3名の方が各クラスにて職業について

の話しやカードで「やりたい」「わからない」「やりたくない」仕事の仕分けをするなど、楽しく学んでいました。12日(金)は、地域の方々12名を招いての職業人講話を開催しました。



夏休みに向けて

いよいよ夏休みが始まります。今年の夏休みでは、実績づくりに時間を費やしてほしいと思います。好きな絵を描いたり、感想文等を書いたり、部活動がんばる等です。読書の時間もぜひ作ってください。事件事故、熱中症や感染症に気を付けて、楽しい夏休みを過ごしてください。

地区中体連結果

野球	ベスト8※県大会出場 (合同チーム安岡中)
サッカー	ベスト8※県大会出場
男子バス	2回戦敗退
女子バス	1回戦敗退
男子バレー	予選リーグ敗退
女子バレー	予選リーグ敗退
男子ソフト	個人1回戦敗退
女子ソフト	団体7位※県大会出場
男子バド	団体1回戦敗退
女子バド	団体1回戦敗退
剣道	団体6位※県大会出場
水泳	200m個人メドレー1位※県大会出場 100mバタフライ3位(2年)
ソフトボール	優勝※県大会出場(3年) (拠点校方式:城北中)